

講習の名称：情報教育と情報モラル教育

担当講師：本村 猛能（教育学部教授）・小熊 良一（群馬県総合教育センター指導主事）

講習開講日：平成 29 年 8 月 18 日（金）

時間数：6 時間

主な受講対象者：

情報教育，あるいは情報教育を含めた内容を担当する小中教諭。または，情報教育に関心のある方。

キーワード：情報教育，情報モラル教育，メディアリテラシー教育，教育の情報化

講習の概要：

情報教育は，2020 年以降高等学校を中心として，小・中・高校の各段階で大きくカリキュラムが改訂される。同時に，メディアリテラシー教育，情報モラル教育は近年さらにクローズアップされている。本講義では，教育の情報化と情報教育，メディアリテラシー教育，情報モラル教育，学校における著作権について，これら教育上の意義や関係などを最近の学校の動向を交え，各学校段階の実践案やその方向性を検討し，意識を深めていく。

講習の展開：

- 第 1 時限 情報教育の基底と要素
—— 情報教育の意義，メディアリテラシー教育の意義
- 第 2 時限 各国の情報教育と我が国の情報教育
—— 日本，韓国，中国，ヨーロッパ等の情報教育の例
- 第 3 時限 実践方法 —— 教育現場での実践方法（小学校，中学校，高等学校の例）
- 第 4 時限 討議・検討 —— 情報教育及び情報モラル教育の実践方法についての検討

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

コンピュータでプレゼンテーションソフトとインターネットを活用するので，基本的な操作ができることが望ましい。なお，可能なら下記の参考文献の一冊以上に目を通して頂きたい。

授業の形式：講義形式。後半では各先生方に実践内容について発表して頂き，これをより具体化するために，討論の時間も組み込みたい。

履修認定試験：

- 論述形式の筆記試験（ノートと配付資料は持ち込み可）。
- 講義を通して受講者が情報教育の在り方について，どのように考察を深めたかを問いたい。

テキスト・参考文献：

参考文献として

- ①本村猛能・角和博・本郷健・森山潤・山本利一『人間力を高める情報教育』学術図書，2014
- ②日本教育工学振興会編『実践事例アイディア集 Vol.16～20』日本教育工学振興会，2008～2012
- ③群馬県教育委員会『はばたく群馬の指導プラン』群馬県教育委員会義務教育課
- ④国立教育政策研究所，『情報モラル教育実践ガイドンス』，2011，
<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/jouhoumoral/>